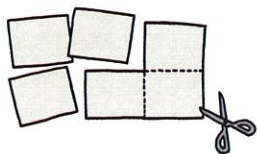


# 「赤水図」の作り方 ③刷る・完成

1 原図を和紙に写して、  
版木のサイズに切り分ける

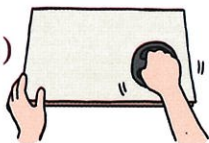


2 切り分けた原図を版木に裏返して貼り付け

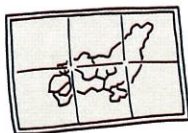
3 彫師が紙の上から線を残して彫る



4 摺師が一色（黒）で刷る



5 つなぎ合わせて



6 地図に色を塗る



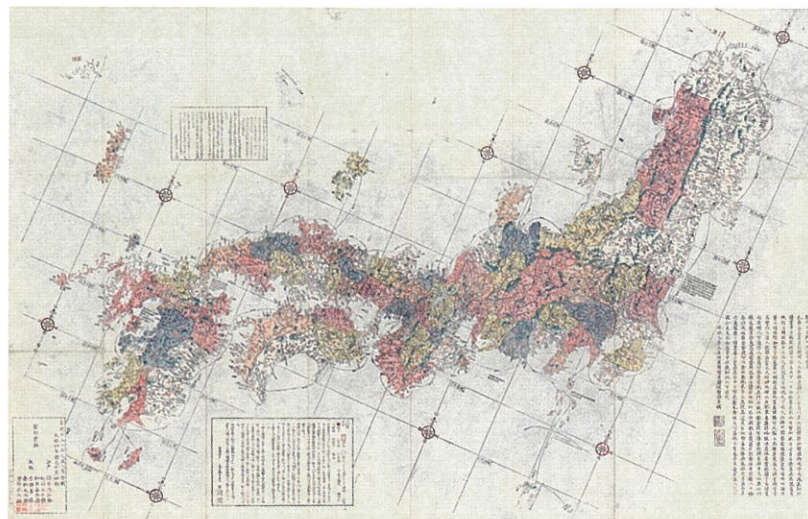
完成



当初は手彩色だったが、後に色刷版も作られた。

高萩市歴史民俗資料館 所蔵

# 完成図 「改正日本輿地路程全図」



## 改正日本輿地路程全図

長久保赤水  
天保4年(1833年)  
ゼンリンミュージアム 所蔵

改正日本輿地路程全図は、日本で初めて方格線（経緯線）を描いた刊行日本地図で安永8年（1779年）に完成した。本図はその第四版である。長久保赤水が手掛けた日本図は通称「赤水図」といわれ、情報量の多さとその正確さから庶民に大変な人気を博した。赤水は地名の追加や地形の修正など細部にもこだわり、何度も部分修正を行った。初版は13回も部分修正（改訂）され、第二版でも4回部分修正（改訂）された。また、改版は赤水没後も、版元によって第五版まで続けられた。



初版は鳶口だった下北半島だが、第四版の本図では斧型に修正されている。



周防灘、有明海、四ツ倉沖の3カ所に、海上の不思議な火についての記述がある。